

おさらい帳

小川未明

青空文庫

この夏のことでした。正ちゃんは毎日のようにもち棒を持って、お宮のけいだいへ、せみとりに出かけました。そのけいだいは、木立がたくさんあって、すずしい風が吹いていました。そして、雨のふる音のように、ジイジイせみがなっていました。また、あぶらぜみがなき、午後からはひぐらしがないたのでありました。正ちゃんは日にやけた黒い顔をして、ごはんを食べるのも忘れて、あそびにむちゅうの日が多かったです。

だから、晩がたは疲れてお家へかえり、お湯にはいると、すぐにいねむりをしてしまいました。

「そう毎日あそんでばかりいていいのですか？」と、お母さんがしんぱいをおつしやいました。

すると、そばからお父さんが、

「いや、どこへも避暑にいかなかったのだから、休みのあいだだけじゅうぶんにあそばしてやればいい。」と、いわれたのです。

正ちゃんは、お父さんの言葉がどんなにうれしかったかしれません。自分は、どこへもいききたいとは思いませんでした。ただ、あのお宮のけいだいで、年ちゃんや吉雄さんたち

と仲よくあそんでいることができれば、それがなによりもたのしいことだと思われました。
「ねえ、お父さん。きよう紙芝居のおじさんが、じてん車をほったらかして木の下で、道具屋のおじさんと将棋をさしていましたよ。」と、話しました。

「ああそうか。あすこは涼しいからな。将棋をさしたり、ひるねをしたりするのにはいいだろう。」と、お父さんはわらわれました。

「紙芝居のおじさんは、なまけていけませんね。」と、正ちゃんは、まじめになっていました。

これをおきになったお母さんは、おかしくてたまらぬように、

「まあ、自分のなまけることはわからずに、ひとのなまけることはよくわかるんですね。」と、おわらいになりました。

学校がはじまって、だんだん涼しくなると、みんなは勉強にせいを出さなければならなくなりました。

ある日、正ちゃんのおさらい帳をごろんになったお母さんは、おどろいて、

「わからないところはみんな書いてないのでですね。書いてあるところも、いくつかがついているじゃありませんか。」と、正ちゃんをおしかりになりました。

「正ちゃんは自分が悪いと思つたときは、だまつていました。」

「なぜ、わからないところはお姉さんにでもきかないのですか。」

お母さんはこのことを、お父さんにいわぬわけにはまいりませんでした。お父さんがおかえりなさつて、一家のものがたのしく夕飯をすましたのちでありました。

「正ちゃんは、学校のことがちつともできないのでございますよ。これをぐらんください。」といつて、おさらい帳をお父さんの前にお出しになりました。

お父さんは、できないとおきになると、ちよつと暗い顔つきをなさいましたが、おさらい帳をおとりあげになつて、ていねいにぐらんになりました。

「せみととんぼの絵を、おかきなさい。」と、いうところがありません。

これは、正ちゃんのいちばんとくいなところだったのでしよう。ほんものせみと、とんぼを見るように、それはよくかけていました。これには、さすがにお父さんも、

「うまいもんだなあ！」と、心の中で感心なさつていました。

そして、正ちゃんのかいた絵をぐらんなさつているうちに、自分も子供の時分に、よく虫を観察して、とんぼの背中にはおかんのんさまがあるといったものであるが、そのかんのんさまのおすがたまで、完全にうつしてあるのに、むしろびつくりなさいました。

「正ちゃんもお母さんも、お父さんの口からなんといってお小言が出るかと思っていると、これからおちついて勉強しなければならぬ。おちついてやりさえすれば、正坊はよくできるのだから。」

こうおっしゃったお父さんは、自分も子供の時分には、せみやとんぼのお友だちだった、そして彼らの生活からいろいろのことをおぼえたと、なつかしくお思いになったのであります。

お父さんは、正ちゃんをしかる気にはなれませんでした。かえって、忘れてしまっていたせみやとんぼのすがたを、つくづくごらんになって、「こんなだったかなあ。」と、お思いになりました。

正ちゃんは、また、いつもやさしいお父さんのことばに感激して、これから勉強するようになつたのでした。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 10」講談社

1977（昭和52）年8月10日第1刷

1983（昭和58）年1月19日第6刷

初出：「教育・国語教育 5巻11号」

1935（昭和10）年11月

※表題は底本では、「おさらい帳《ちよう》」となっています。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：酒井裕二

2015年5月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

おさらい帳

小川未明

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>